

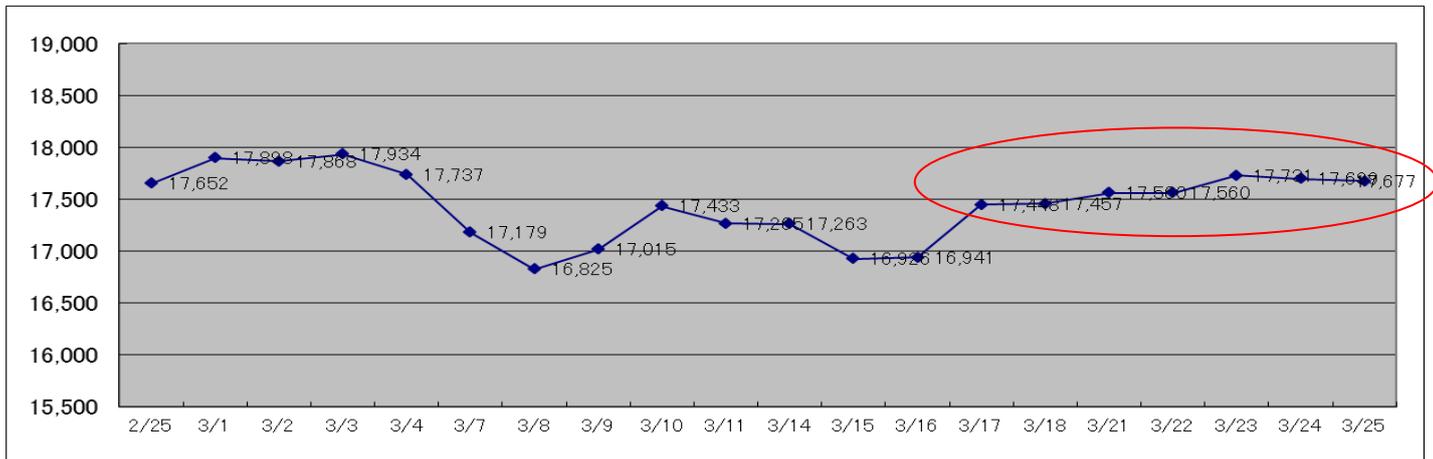
2022年3月度 西川経営塾

台湾経済動向：

2022.3.28

2月輸出は輸出の60%弱を占める「半導体」「電子部品」「パネル」が好調に推移、「金属」「機械」「化学品」などはやや苦戦しましたが、最終374.5億ドル（昨年比+34.8%）と好調に推移、20ヵ月連続プラスになりました。今年4.42%（2月末4.15%から修正）の経済成長を見込んでいますが、ウクライナ危機の影響が心配されます。

株価動向：アメリカの利上げ、ウクライナ危機で好調な台湾株価にも影響がでており、18000を下回る状況が続く



蔡政権「5大イノベーション研究開発計画」：①グリーンエネルギー ②アジアシリコンバレー ③バイオテクノロジー ④スマート機械 ⑤国防産業 +①新農業②循環経済 この5+2分野のイノベーションを進め、経済成長に結びつける構想で、今後中国本土への経済的依存を減らすべく、東南アジア諸国連合（ASEAN）やインドとの経済関係を強化する方針。今年の重点経済政策：「加速創新（イノベーションの加速）」「5つの不足の解消（水、電力、土地、労働力、人材）」「貿易拡大」

景気に対する好条件：①半導体、電子部品（車載関連など）の競争力 ②輸出が20ヶ月連続プラス

景気に対する懸念条件：①中国経済の失速（2021年度経済成長率+8.1%→2022年度は5.5%を想定）②最近の台湾ドル高が今後の輸出にどう影響を与えるか③3月アメリカFRBがゼロ金利政策を解除、0.25%に→台湾は1.125%から1.375%）④ウクライナ危機による影響⑤エネルギー、原材料高によるインフレ懸念

国内景気：1月上旬から感染者が増え始め、外出を控える傾向が強まっており、2月、3月と商業施設にも影響が出ています。只、台湾経済のファンダメンタルは強く、百貨店ではラグジュアリーなどの高級品が全体売上を下支えしています。3月は天候の影響もあり回復傾向にあり、化粧品、ファッション関係も前年を超えています。しかし全体を牽引しているのはラグジュアリーで+20~30%となっています。その背景にはLOUIS VUITTON、CAHNELなどが徐々に値上げをしており、駆け込み需要もあると思われます。一方、1月1日から最低賃金が5%上がり（24,000→25,250NT）、サービス業中心に人件費の高騰が伝えられていますが今日の工商時報では来年も5%以上の賃金上昇が予測されています。今後、原料、エネルギー高によりインフレが懸念されており、今後政府のインフレ対策、賃金上昇を誘導しながら格差是正を図る施策が求められます。